

平成28年度 下京区運営の総括表(実績)

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「健康長寿のまち・下京」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・区民一人ひとりが、「下京歩歩(ぼっぼ)塾」や「健康づくりサポーター(しもけんズ)」養成の取組をはじめ、健康づくりに関する情報発信、健康教室、食育セミナーなどを通し、「自分ごと」として健康への意識を高め、健康づくりに主体的に取り組めるよう支援します。 ・自治連合会、社会福祉協議会、保健協議会などをはじめ区内で健康づくりの推進に取り組む関係機関などとの連携を強化します。 	<p>1 下京区民まちづくり会議「健康長寿のまち・下京部会」 「下京区基本計画」の中間見直しとして、「健康長寿のまち・下京」の推進のため、関連団体から推薦された委員により、今後「やってみたいこと」とその実現に向けての課題及び解決策を話し合った。 日 時 ①12月12日(月)午後1時～3時 ②平成29年2月2日(木)午後1時～3時</p> <p>2 親子ふれあいタグラグビー(ふれあい事業) 人と人の絆をつなぐ機会の創出やトップリーダーを講師に迎えてラグビー競技のおもしろさを体感してもらうことを目的に、子どもも大人も一緒に楽しめるタグラグビー教室を開催した。 日 時 平成29年2月26日(日)午後1時～4時 場 所 元崇仁小学校 グラウンド 参加者 親子27組</p> <p>3 民生児童委員会高齢者福祉部会及び老人福祉員合同研修会 日 時 11月2日(水)午後1時～3時 参加者 69人 場 所 下京区役所会議室 「～ますます若く健康に 理学療法士が伝授する専門的な楽しい運動」</p> <p>4 「高齢者便利帳シニアお出かけマップ」の普及 地域包括支援センターが中心となり作成したマップを、広く区民の皆さんに利用していただけるよう普及に努めた。</p> <p>5 アンケート(「健康寿命の延伸」～みんなで知ろう!下京区の健康課題!～)の実施 区民の健康に関する意識を把握するため、健康寿命の延伸をキーワードにアンケートを作成し、各種健診事業をはじめ、8月の「下京・京都駅前サマーフェスタ2016」や11月の「下京区ふれ愛ひろば」においてアンケート調査を実施した。 (アンケート回収件数 708件) アンケート結果から、50歳代以上と40歳代以下の世代間で「健康寿命」の認知度に差があり、40歳代以下の若い世代への周知が重要であることがわかった。</p> <p>6 健康づくりサポーター養成講座 ※場所はいずれも下京区役所会議室 ①5月17日(火)午前9時30分～11時30分 10人参加 内 容 健康づくりに関する講話 ②5月24日(火)午前9時30分～11時 11人参加 内 容 歯科・栄養に関する講話、実技・運動指導 ③5月31日(火)午前9時30分～11時 11人参加 内 容 ボランティア活動の注意点、先輩サポーターとの交流会</p> <p>7 健康づくりサポーターの活動支援(健康づくりグループ育成) 活動の場の提供、健康に関する正しい知識や情報の提供、健康づくりサポータースキルアップ教室(3回開催)</p>	<p>区民の健康長寿の延伸に向けて、今後とも、様々な機会を通じて、健康づくりに関する取組への区民の皆さんの参加のきっかけづくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く区民の皆さんにマップを利用していただけるよう、区民の皆さんの情報をもとに、より楽しく役立つ情報が掲載されたマップづくりとその活用を支援する。 ・アンケート結果をさらに分析する中で、下京区の健康課題を明らかにし、解決するための方策を検討していく。 ・健康づくりサポーターが地域の中で健康づくりの担い手として活躍していただけるよう支援していく。 	地域力推進室、保健福祉センター

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを 地域力で育む			<p>8 集団健康教育 ・健康づくりにチャレンジする教室～骨(こつ)コツ健康づくり～ ※3回シリーズ(いずれも時間は午後1時30分～3時30分, 場所は下京保健センター多目的ホール) ①10月17日(月) 23人参加 内容 骨密度測定, 講話「健康づくりって何だろう」, 運動実技 ②10月24日(月) 20人参加 内容 講話「カルシウムたっぷりの献立の提案」, 運動実技 ③10月31日(月) 19人参加 内容 講話「骨の健康と骨粗しょう症」「コツコツ健口づくり」, 健康づくりサポーターの紹介・メタボピクス体操</p> <p>9 女性向け教室 ・さとり＊セルフチェック・ケア教室～お口と乳がん～ 日時 9月6日(火) 参加者 12人 内容 講話「お口のケア」「乳がんについて知ろう」, 乳がんセルフチェック</p> <p>10 食育セミナー ※いずれも時間は午前10時～午後1時, 場所は下京保健センター栄養指導室 内容は, 講話, 調理実習, 試食 ・「ヘルシークッキング」～エネルギーダウンのコツ～ ①6月7日(火) 10人参加 ②6月21日(火) 13人参加 ・明日につながる今日の食 明日につながる京の食 京・食クッキング ①平成29年1月31日(火) 8人参加 ②平成29年2月7日(火) 20人参加</p> <p>11 健康教育(出前教室) ・中学生の喫煙防止教育 ①6月9日(木) 七条中学校1年生145人参加 ②10月26日(水) 下京中学校1年生181人参加 ・思春期講座「感染症について」 平成29年2月20日(月) 七条中学校3年生122人参加 ・歯の健康について 6月21日(火) 下京ひかり児童館を利用している親子4組(親4人, 子供4人)参加 ・梅逕健康すこやか学級 6月27日(月) 梅逕学区民28人参加 ・すこやか講座「冬の感染症について」 10月21日(金) 長寿すこやかセンターを利用している市民64人参加</p> <p>12 下京歩歩(ぼっぼ)塾 IT歩数計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ, 地域ぐるみの健康づくり活動を行い, 区民の健康増進を図る事業で, 今年度からは塾生による自主運営を行っている。【参考】塾生数 71人(4月当初) ・散歩会 月1回程度実施。参加者は, 毎回10～15人程度 ・ヘルスピア21によるミニ講習会や同志社大学協力のもと実施した筋力測定, 保健センターで実施している食育セミナーへの参加等も積極的に行い, 健康寿命の延伸につながる活動を行っている。</p>	子どもから高齢者までを対象に, それぞれの年齢に応じた健康づくりの推進のため, 健康づくりの重要性を周知するとともに, 地域と一体となった取組を進めていく。また, 健康づくりに関する様々な情報発信に努める。	地域力推進室, 保健福祉センター
	みんなのつながりで「子育て」環境を育むまちづくり事業の推進	<p>・子育てを支援する関係機関や「子ども育みサポーター」との連携を図りながら, 乳幼児を養育中の親子のふれあいと交流の場を提供する「下京たんぼっぼ広場」の開催, 孤立しやすい子育て家庭を主任児童委員などが訪問する「下京赤ちゃんねっと」など, 多様な取組を進めます。</p> <p>・保健師などによる妊娠期の面接や訪問, 産後4箇月までの乳児がいる家庭への全戸訪問を通じて, 妊娠から出産, 育児期までの切れ目ないきめ細やかな支援を行います。</p>	<p>1 下京たんぼっぼ広場 日時 ①6月8日(水), ②10月26日(水)いずれも午前10時30分～正午 場所 元安寧小学校 参加者 ①195人(大人96人, 子ども99人), ②251人(大人119人, 子ども132人) 主催 下京たんぼっぼ広場実行委員会</p> <p>2 下京赤ちゃんねっと事業 主任児童委員等が地域の子育て情報を届け, 子育てを支援する関係機関と連携し, 孤立防止のための訪問事業を実施した。 実績 69件 主催 下京赤ちゃんねっと実行委員会</p> <p>3 妊婦相談事業 母子健康手帳交付時に全員の方に保健師が面接を実施し, 妊婦の不安や育児環境等に対する相談を受け適切な支援を行っている。 実績 母子健康手帳交付数 768件</p> <p>4 新生児等訪問指導事業 産後4箇月までの乳児のいる家庭への訪問を行い, 育児や産後の生活の相談を受け適切な支援を行っている。 実績 訪問数 628件</p>	<p>・下京たんぼっぼ広場は毎回, 参加者から「楽しかった」「子どもが喜んでくれた」など好評をいただいております。乳幼児親子のふれあいの場として定着している。</p> <p>・下京赤ちゃんねっと事業は, 訪問先の保護者から「地域の子育て関係施設等の情報がわかる」と喜ばれている。更なる利用者増加に向けて, 事業周知に積極的に取り組んでいく。</p> <p>・新生児等訪問指導事業では, 全戸訪問を目指しているが, 里帰り等で訪問できない場合でも, 電話で相談のするなど支援につなげるように取り組んでいる。</p> <p>今後も, 支援が必要と思われる子育て家庭に対して訪問などの働きかけを継続することにより, 子育て家庭の孤立化や児童虐待等の未然防止に努めていく。</p>	保健福祉センター

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして 安全を高める	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動の実施	・区内で大きな課題となっている自転車盗難件数の大幅な減少に向け、自転車盗難被害が多く発生している中高層住宅にお住まいの方に対して、自転車盗難の防犯啓発などを、警察と共に取り組んでいきます。	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会(地域の各種団体, 小中学校, 商業施設関係者, 事業者, 行政機関により構成)が, 平成28年3月に策定した「下京区運動プログラム」に基づき, 「誰もが安心して過ごせる, やさしさあふれるおもてなしのまち下京区」を目指し, 様々な取り組みを実施した。 【主な取組】 ・10月11日に下京区推進協議会の出発式として, 京都駅前で行い, 京都駅から東本願寺前まで区民, 企業, 行政が参加するパレードを開催した。参加者 200人 ・毎月14日の「下京区防犯の日」に京都タワーや区役所などを防犯カラーのスカイプルーにライトアップするとともに, 協力していただける企業や行政機関などに横断幕や懸垂幕を掲示していただき, 機運向上を図っている。 ・下京区の誕生日である3月14日には, 京都駅前において区民, 企業, 行政が一体となり「オール下京」が参加して, 京都タワーの点灯式(スカイプルー)を開催した。参加者 100人 ・下京区での犯罪件数が多い, 「自転車盗難」「万引き」防止の取組強化のため, 下京区推進協議会の部会を協議会委員の他, それぞれの犯罪に御意見をいただける企業, 区民の方に参加していただき, それぞれ2回, 計4回意見交換を行った。その意見を取りまとめ, 3月開催の下京区推進協議会総会で報告した。 【参考】下京区推進協議会 開催日 ①8月4日 ②平成29年3月22日 ・区内各箇所で行った下京警察署とともに区民, 企業などの協力を得て, 防犯の啓発活動を定期的に行っている。	毎月14日の「下京区防犯の日」に京都タワーなどを防犯カラーのスカイプルーにライトアップし, 機運向上を図るとともに, 引き続き, 下京区運動プログラムに基づき「安心安全な下京区」を目指して取り組んで行く。	地域力推進室
	下京区安心安全ネットワーク継続応援事業の推進	・下京区の各地域で, 安心・安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対する補助を行い, 地域の安心・安全なまちづくりを支援します。	補助金交付学区(6学区):豊園, 植柳, 菊浜, 七条, 永松, 醒泉 学区での具体的な取組: 通学路に電柱幕を設置, 安心安全パトロール用(青パト)車両の運営, 町内別防災マップ作成のための機材購入, 安心安全活動用ジャンパー等の作成	今後も引き続き地域の安心・安全なまちづくりを支援していく。	地域力推進室
	不良な生活環境を解消するための支援等の推進	・保健師をはじめとした区役所職員が, 社会的孤立などの状態にあり, 既存の制度や地域だけでは対応が難しい方に対して, 「京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例」に基づき, 対象者に寄り添った支援を行い, 京都市社会福祉協議会の「地域あんしん支援員」や地域の皆さん, 関係機関と協力連携して, その解決に向けた取組を進めます。	1 「不良な生活環境を解消するための支援等に関する」下京区役所対策事務局メンバー会議の開催 ①6月16日 ②10月25日 ③平成29年3月23日 7件の調査内容を協議した結果, 4件(うち1件は年度内に解決)について支援していく方針を定め, 取組を進めていくこととした。 2 清掃支援 下京区役所, 地域役員, 区社会福祉協議会などが連携し, 不良な生活環境の解消に向けて, 2件の家屋内外のごみの清掃を実施し, うち1件の解決を図ることができた。 3 訪問・面談 面談や清掃などを拒む方に対して, 地域役員, 地域あんしん支援員及び下京区役所などが粘り強くアプローチを試みる中で, 清掃支援に結びついた。	不良な生活環境を解消するための支援等を円滑に勧めていくため, 関係機関及び区関係課と連携し, 清掃支援及び寄り添い支援等を行う。 また, 不良な生活環境の予防かつ再発防止の観点で地域の方々, 関係機関と連携し早期介入に努める。	地域力推進室, 保健福祉センター

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして安 全を高める	災害に即応できるた めの体制づくり	<p>・「京都市総合防災訓練」実施により、下京消防署、下京警察署、下京区自主防災会連絡会、防災関係機関などと更なる連携を強化し、区民ひとり一人の防災意識の高揚と災害対応能力を向上させ、「災害に強いまち・下京」をめざします。</p>	<p>1 京都市総合防災訓練（下京区総合防災訓練） 京都市総合防災訓練を梅小路公園をはじめとする下京区内で開催し、下京区自主防災会連絡会をはじめとする区民の皆さんの参加のもと防災意識の高揚と災害対応能力向上を図ることができた。 日 時 9月3日(土) 参加者 3,500人 主な訓練内容 大規模災害対応訓練(梅小路公園)、避難所運営訓練(福祉避難:介護老人保健施設じゅんぶう、ペット避難:光徳小学校)、帰宅困難者避難訓練(京都駅、東本願寺)</p> <p>2 各学区の防災訓練への支援 各学区では、大規模災害に備え初期初動や初期消火訓練など様々な訓練が実施されている。今年度は、近年課題となっているペット避難について、災害発生時に対応ができるようペット避難訓練の支援を行った(豊園, 光徳, 七条第三, 西大路学区)。</p> <p>3 下京区民まちづくり会議「安心安全なまちづくり部会」 下京区基本計画の中間見直しとして、「安心安全なまちづくり」の推進のため、関連団体から推薦された委員により、今後「やってみよう」とその実現に向けての課題及び解決策を話し合った。 日 時 ①平成29年1月12日(木)午後5時～7時 ②平成29年2月27日(月)午後5時～7時</p> <p>その他、以下の団体が実施する研修会や訓練に参画した。 ・四條繁栄会商店街振興組合 四條繁栄会が開催する防災セミナーに下京警察署、下京消防署、防災危機管理室とともに講師として参加し、観光客等の帰宅困難者対策についての説明を行うとともに意見交換を行い、大規模災害発生時に帰宅困難者対応ができるよう認識を深めていただいた。 日 時 平成29年3月2日(木)午後2時～4時 ・京都駅周辺防災ネットワーク協議会(京都駅ビル開発株) 大規模災害やテロ災害発生時に京都駅周辺の事業者の初期対応が円滑にできることを目的に研修会や訓練を実施している。平成28年度は、防災危機管理室や京都産業大学の准教授を講師に迎えた研修会が実施され、災害時の意識向上が図られた。 日 時 平成29年2月16日(木)午後3時～5時 ・京都駅周辺地域都市再生緊急整備協議会(都市計画局) 大規模災害発生時に京都駅利用者がスムーズに避難できるよう、京都駅の鉄道各社と京都市が合同の訓練が深夜に実施された。 日 時 10月1日(土) 午前1時</p>	<p>・下京区総合防災訓練については、平成29年度以降、各学区の防災訓練ではできない訓練項目を検討することとし、講演型と参加型を隔年で実施し、区民の皆さんの防災意識の向上を図る。 ・各学区の防災訓練への支援については保健福祉局、下京消防署と連携し、引き続きペット避難についての訓練を実施していく。</p>	地域力推進室
	「こころのふれあい ネットワーク」事業の 推進	<p>・精神障害やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行います。 ・ネットワーク通信「下京こころほっとだより」などの発行、講演会や地域懇談会の開催を通じ、活動内容を広く区民の皆さんへ情報発信します。</p>	<p>「下京こころのふれあいネットワーク」(地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成)が主催し、以下の取組を実施した。</p> <p>1 「こころの健康」をテーマとする講演会 日 時 平成29年2月8日(水) 午後2時30分～4時30分 場 所 京都産業大学 むすびわざ館 テーマ 「気付きづらいアルコール問題～それってもしかして依存症～」 当事者の話と福祉施設紹介 参加者 66人(うち、民生児童委員・老人福祉委員16人含む)</p> <p>2 地域に出向いて実施する学習会(地域懇談会) 日 時 11月30日(水)午後1時30分～2時30分 場 所 下京老人福祉センター集會室 テーマ 「健やかに日々を過ごすために～高齢者のメンタルヘルスいろいろ～」 当事者の話 参加者 42人(下京老人福祉センターの世話人・利用者)</p> <p>3 ネットワーク活動等を知ってもらうためのパネル・作品展 期 間 平成29年2月13日(月)～2月24日(金) 場 所 下京区役所1階 テーマ 「夢」</p> <p>4 ネットワーク活動等を掲載するネットワーク通信「下京こころほっとだより」 発行時期 6月(第8号)、11月(第9号)、平成29年3月(第10号) 発行部数 各400部</p> <p>5 下京こころの情報誌 平成25年に発行した「下京こころの情報誌」の掲載内容を更新し、改訂版を6月に発行した。 発行部数 700部</p>	<p>引き続き取組を進めていく。 講演会等のテーマについては、タイムリーなものとするなど、多くの方に参加していただけるよう取り組む。</p>	保健福祉センター

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針 I-② 近所のお付き合いで 安心を支える 基本方針 I-③ 地域力を生かして安 全を高める	権利擁護等高齢者 福祉ネットワークの推 進	・高齢サポート(地域包括支援セン ター)を核とした高齢者福祉ネット ワークを活かし、「地域あんしん支 援員」とも連携しながら高齢者の権 利擁護や高齢者に関する課題の解 決に取り組みます。	高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、高齢サポート(地域包括支援センター)が中心 となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が「区民が主役のまちづくりサポート事業補助 金」を活用して、以下の事業を実施した。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組んだ。(実施主体: 「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」) 1 高齢者なんでも相談会 (区役所内で開催) 日 時 平成29年3月11日(土) 午前10時30分～午後4時 参加者 31組 2 権利擁護講演会 (区役所内で開催) 日 時 平成29年3月11日(土) 午後2時～3時 参加者 110人 3 出張ミニ相談会 日 時 ①7月14日(木) 午後1時30分～3時30分、②10月15日(土) 午後2時～4時、 ③平成29年1月21日(土) 午後1時30分～4時、④平成29年2月21日(火) 午後1時30分～4時 場 所 ①いきいき市民活動センター、②京都南病院、③七条第三小学校、④老人福祉センター、 参加者 ①5組、②13組、③11組、④14組 (計43組) 上記のほか、高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、毎月、定期的に地域包括支援セ ンター及び関係機関と協議し、連携している。	・講演会及び相談会については、 毎回、参加者から「よく話を聞いて もらえた」「解決の糸口が見出せ た」など、好評をいただいている。 また、事業を通し、ネットワークを 構成する関係機関や、司法書士、 弁護士、税理士など様々な専門 職の参加者間の交流が深まること によって、高齢者にかかる支援の 厚みが増すほか、円滑に連携でき るようになってきている。 今後も、高齢者の権利擁護支援 の充実に向け、関係機関と連携 し、効果的な取組を進めていく。 併せて、脳トレや骨密度測定を行 うなど、健康づくり、健康長寿に即 した取組を行い、総合的な高齢者 福祉を進める。	保健福祉セン ター

基本方針	28年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)

基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かし 魅力を高める	新たな賑わいを創出する京都駅西部エリアの活性化	・京都鉄道博物館開業を契機に、区民と企業との協働によるまちづくりを進め、更なる賑わいと回遊性のある地域をめざします。	1 「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」との連携 JR西日本を中心とする京都駅から梅小路公園周辺の企業・団体が構成するプロジェクトに、区はオブザーバーとして参加している。10月20日(木)の理事会において、安寧及び梅選挙区の自治連合会が特別会員として参加した(会員数40団体)。 集客イベントチラシやガイドマップの配布等の広報支援、月1回の合同清掃への参加等を通して、賑わいのあるまちづくりに向けて共に取り組んだ。 【主なイベント】 ・8月6日(土)～12日(金)京都・梅小路七夕あそび 参加者 約99,000人 梅小路公園を「京の七夕」の新会場として、ライトアップ及び「あそび」をテーマに催しを開催 ・11月23日(水・祝)梅小路キッズアートキャンパス 参加者 約2,000人 元安寧小学校舎及びグラウンドを活用し、34の企業・団体がそれぞれのコンテンツを活かし、子ども達に多様な「まなび」を提供 ・平成29年1月～3月 下京若者まちしごと会議(全3回) 各回15～30人参加 まちづくりの担い手の掘り起し・育成を目的に、20～50歳までの若年層が、まちづくりのアイデアについて話し合い、最終回では4組が発表。また、アドバイザーとして、安寧及び梅選挙区自治連会長、七条商店街、七条センター商店街が参加 ・平成29年2月3日(金)～12日(日) 京都・冬の光宴2017(梅小路公園)、京都・梅小路てくてくバル&スイーツ2017 参加者 約13,000人(うち光宴 3,788人) 梅小路公園の冬のライトアップ及び39店舗が参加するバルイベントを同期間に開催 2 「京都駅西部エリアまちづくり協議会」との連携 「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」の実現を目指し、企業、東・西本願寺、龍谷大学、大内及び七条学区自治連合会、商店街等で構成する協議会に区も参加している(会員数21団体)。 エリアマップの配布等の広報支援等を通して、賑わいの創出に共に取り組んだ。	引き続き、連携して、区民と企業との協働によるまちづくりを進め、地域の賑わいと回遊性の向上を目指す。	地域力推進室
	京都駅東部エリアのまちづくりの推進	・京都市立芸術大学の移転に先がけて実施する小・中学校で行う芸大の特別授業や、芸大を核としたプレ事業や地域の取組により、「創造・交流・賑わい」のまちづくりを進めるとともに、地域の活動団体や子ども育みサポーター、小・中学校などと連携して、まちづくりの機運をより一層高めます。	1 「京都市立芸術大学を核としたエリアマネジメント」準備組織との連携 「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」準備組織には、地域、京都市立芸術大学、行政、学識が参画し、崇仁地域に迎える市立芸大を中心とするまちづくりについて、協議が進められている。平成29年2月に取りまとめられた、「京都市立芸術大学移転整備基本計画(案)」(行財政局)についても意見交換がなされ、本エリアマネジメント準備組織参加の5学区(植柳、稚松、菊浜、皆山、崇仁)で意見を取りまとめ、計画案に対する市民意見(パブリックコメント募集期間:2月1日(水)～3月5日(日))として提出された。また、地域が主体となったエリアマネジメントを円滑に推進し、市立芸大の歓迎機運を更に高めるため、5学区が中心となって開催した「下京東部まちなみ写真展」運営への支援を行った。 日 時 12月16日(金)～18日(日) 午前10時～午後4時 場 所 東本願寺 涉成園 ろう風亭 内 容 5学区を中心とする地域の昔のまちなみや風景の写真展示、芸大生による音楽演奏、お茶席 参加者 916人(3日間合計) 2 「崇仁高瀬川保勝会設立準備会」との連携 京都市立芸術大学の崇仁地域への移転を契機に、崇仁地域内の高瀬川の美化の維持を目的に、平成29年4月に崇仁高瀬川保勝会の設立が予定されている。区では、設立準備会に参画し、既設の保勝会の情報提供を行った。 3 楽市楽座「京の名店・グルメフェア」への支援 京の名店の味を気軽に楽しめる催しへの運営支援を行った。 日 時 4月24日(日)午前11時～午後3時 場 所 平成の京町家(モデル住宅展示場KYOMO広場) 参加者 約700人 主 催 グルメフェア実行委員会(崇仁自治連合会、崇仁まちづくり推進委員会、 下京いきいき市民活動センター、市民活動総合センター、ストラータ)	引き続き、関係部署と連携して、地域が主体となった本エリアの活性化に向けた取組に対して必要な支援を行うとともに、市立芸大移転の歓迎機運の高揚に向けて取組を進めていく。	地域力推進室

基本方針	28年度重点取組				
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)	所属等
基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める 基本方針Ⅱ-② まちの個性を生かして 魅力を高める	「歩いて知る, 下京魅力再発見」の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に実施した, 観光型スポーツ事業「京フォトロゲイニング2016」参加者の意見を基に, 家族や仲間との助け合いや幅広い世代の参加者との交流を通じて「ふれあい」をより一層強めるとともに, 地域の魅力を再発見しながら, より地域に愛着をもっていただける取組として実施します。 	1 京・フォトロゲイニング2017 (ふれあい事業) 運動に親しんでいただくことはもとより, 史跡や文化施設, 歴史的建造物などを巡り, 地域の歴史や文化に触れることで京都の魅力を再発見するとともに, 幅広い世代の参加者との交流を通じてふれあいをより一層深めていただくことを目的に開催。 平成28年度は, 昨年より競技時間を1時間長くし, 「ファミリーの部」のカテゴリを設け, 下京区に関するクイズを出し, より下京区に親しみを持っていただける企画とした。 日 時 平成29年3月18日(土) 午前9時～午後4時 場 所 元崇仁小学校 体育館 参加者 94組 289人	下京区の文化を身近に感じることのできる, より区民が文化に触れ親しみを持ってもらえる事業を実施していく。	地域力推進室
	「下京・京都駅前サマーフェスタ2016」の支援	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅ビル開発(株), 西本願寺, 東本願寺, 各学区や各種団体など, まちづくりを主体的に進める皆さんと協力連携し, 下京区の新しい夏の風物詩として更なる定着を図り, まちの賑わいづくりを進めます。 	1 「下京・京都駅前サマーフェスタ2016」への支援 日 時 8月20日(土) 午前10時～午後5時 (イベント:7月30日(土)・31日(日)本願寺納涼盆踊り(西本願寺)) 場 所 京都駅ビル駅前広場, 東本願寺, 梅小路公園 参加者 約27,000人(イベント約14,000人) 内 容 西本願寺:スタンブラーポイント, 門前町まちかどコンサートplus 東本願寺:食とアートのマーケット(飲食, ゲーム等各種ブース), ツリークライミング 京都駅ビル:オープニング, KBS京都ラジオ生放送, ステージ, JR西日本特設コーナー(こども制服, ミニSL等) 梅小路公園:ヨーヨー釣り, おもちゃすくい, 水占い その他, 新しくひんやり商店街を実施(七条センター商店街) 2 「西本願寺花灯明」への協力 浄土真宗本願寺派第25代専如門主伝灯奉告法要の協賛事業の一つとして, 地域活性化と観光振興を図ることを目的として, 西本願寺を夜間特別公開してライトアップするとともに, 門前町に行灯を設置し, 温かい灯りで照らした。実行委員会の副委員長に下京区長が就任し, 広報協力や運営へのアドバイスをを行った。 日 時 10月1日(土)～10日(月・祝) 午後6時半～9時半 参加者 約21,000人	京都駅ビル開発(株), 西本願寺, 東本願寺, 地域が協力連携し, 下京区の魅力を発信していく。また, 梅小路エリアをより盛り上げる工夫とステージ出演団体の新規獲得に努める。	地域力推進室
	地域の魅力を高めるまちづくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> 地元学区などの地域の皆さんや事業者などの皆さんと連携を密にしながら, 地域の魅力を高めるまちづくり活動への支援を継続していきます。 	1 菊浜学区の取組 菊浜学区では, 平成28年度から新たに空き家対策の取組に着手し, 空き家調査や地域の危険箇所等の把握を進め, 空き家・防災マップが作成されるとともに, 地域への移住を促すため, 学区の魅力を紹介するホームページが制作された。 また, 学区内で防災, 防犯, 空き家, 地域コミュニティ, 地域資源等のテーマ別に意見交換を重ねて, まちづくりビジョンの策定に取り組み, 各戸配布向けには, より親しみやすい「住みずみ菊浜かるた」(まちづくりビジョン 簡易版)も作成された。 2 有隣学区の取組 有隣学区では, 空き家の活用や地域の防空壕調査などのまちづくり活動とともに, 平成28年度から新たに都市計画局で実施の「防災まちづくり」の取組にも着手。防災まちあるきや防災マップの作成を進め, 30年度を目途に, 学区の総合的な防災まちづくり計画の策定を目指す。 3 松原通界隈活性化活動プロジェクト 昭和30年まで祇園祭の山鉦が巡行していた松原通において, 山鉦巡行の復活を目指すとともに, かつての松原通の賑わいを取り戻そうと, 洛央小学校区の各学区の役員を中心に24年度に結成された。山鉦巡行の好天を祈って, 7月16日の深夜に松原通を通る「日和神楽」(岩戸山, 綾傘鉦, 船鉦)を地域でお迎えし, 巡行を盛り上げるためのイベントである「松原お迎え提灯灯し」を洛央小学校と協力して実施しているほか, 地域活性化イベントの「松原通(みち)の駅」を年2～3回開催している。	引き続き, 地域の課題や資源を生かした自主的なまちづくりの取組が進むよう, 都市計画局及び京都市景観・まちづくりセンターと連携し, 必要な支援を行っていく。	地域力推進室

基本方針	28年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括、今後の方針等)

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)

基本方針 Ⅲ-① エゴを捨てて エコ活動を行う	エコ活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 各学区が、さらに活発なエコ活動を行うことができるよう、他の学区の模範となる学区への支援や、エコ活動の拡大・継続を図る「エコ学区ステップアップ事業」への支援を行います。 	<p>1 エコ学区事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 永松及び植柳学区がエコ学区事業用の学習会を、尚徳及び豊園学区がエコ学区ステップアップ事業用の学習会を、成徳学区がエコ診断(省エネ診断)を実施した。 格致、成徳、永松、醒泉、七条及び七条第三学区が支援物品の配布を受け、植柳学区が省エネナビを用いた連続学習会「くらしの匠」に取り組んだ。 郁文、開智及び稚松学区では地域のイベントにおいて環境啓発ブースを出展するなど、学区での自発的な活動に取り組んだ。 <p>その他、梅逕学区では、学区の夏祭り「Eco Summer Festa2017」において、積極的にエコ活動の推進に取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き模範となる学区への支援と学区のイベント等での環境啓発ブース出展やエコプログラムの実施を支援します。 	地域力推進室
基本方針 Ⅲ-② 担い手の育ちを支える	下京地域コミュニティ活性化応援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に子育て世代を対象に実施した「地域の繋がり・町内会に関するアンケート」によると、区民は地域の中で「顔の見える関係づくり」を重視していることが明らかになったため、次代を担う若手世代が地域と繋がり、地域活動に参加しやすいコミュニティづくりをめざします。 	<p>1 「あってよかった！町内会！」の作成</p> <p>「地域の繋がり・町内会に関するアンケート」等を踏まえ、御近所どうしの繋がりづくりや安心安全なまちづくりに大きな役割を果たしている「町内会」を応援するため、町内会の良さ(メリット)や新しくお住まいになられた方等への「声のかけ方」をまとめた、町内会長向けの冊子「あってよかった！町内会！」を作成し、区内の町内会長に配布した。</p>	<p>配布した冊子を引き続き各町内で活用していただき、他の地域コミュニティの活性化に資する支援策と連携し、地域における顔の見える関係づくりを推進する。</p>	地域力推進室
	まちカフェ事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 下京・町衆倶楽部のメンバーによるまちづくり活動に加え、平成28年度は若い世代を対象とした新たな活動の場を設けるとともに、現在、地域に点在している自主的なサークル・団体とも横の広がり生まれるよう取り組むことを通し、様々な「まちづくり人」の出会い・繋がりの中から、区内でのまちづくり活動を一層盛り上げていきます。 	<p>1 下京アフターアワーズ</p> <p>下京の旬な人・モノ・場所を舞台に、地域の魅力を活かして活動する方々をゲストとして迎えて、その体験を共有し、ゲストと参加者、参加者同士の交流会を開催した。参加者は、新たな出会いやつながりの創出、起業マインドの醸成、地域の価値の再発見をすることができた。</p> <p>日 時 ①10月19日(水)43人参加 ②平成29年2月22日(水)37人参加 場 所 ①マテリアル京都 ②京都もやし町家</p> <p>2 下京・町衆倶楽部への側面支援</p> <p>下京・町衆倶楽部のチーム「下京〇(まる)つなぎ屋」の交流拠点(元安寧小学校)を確保し、「下京茶屋」(毎月1回)で、魅力ある下京区のまちづくりについて話し合った。</p>	<p>今後も、様々な出会い・つながりの場を提供し、区内でのまちづくり活動を盛り上げていく。</p>	地域力推進室

基本方針	28年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)

2 区民の皆さんの地域力を生かした新しいまちづくりのために

地域が持つ底力を引き出し、区民の皆さんと力を合わせてまちづくりを進めます	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	<p>・5年目を迎える平成28年度は、少子高齢化の進展が見込まれる中、新たに「健康長寿のまちづくり」「安心安全なまちづくり」の推進という視点を審査に取り入れ、誰もがいきいきと地域社会で活躍でき、安心安全で笑顔で暮らせるまちづくりを進めます。</p>	<p>下京をより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民等が地域力を生かして主体的に行う活動を支援し、「参加と協働」による下京区基本計画の推進を図ることを目的に実施した。</p> <p>募集期間 4月15日(金)～5月16日(月) 審査会 6月6日(月), 6月10日(金) 申請件数 36件 採択件数 32件 【参考】予算額7,500千円(補助金のみ)</p>	<p>制度を開始して5年目となり、本事業に採択されたことを契機とした、区民等の皆さんによる主体的なまちづくりが進んでいる。引き続き、事業を継続し、まちづくり活動を支援していく。</p>	地域力推進室
	「下京区民まちづくり会議」の開催	<p>・下京区基本計画策定から5年が経過した平成28年度は、これまで取り組んできた事業について、様々な分野でまちづくりに関わる方々から広く御意見をいただいて振り返りを行い、今後の事業に関する協議を行います。</p>	<p>1 下京区民まちづくり会議の開催 下京区基本計画の推進等について幅広く意見をいただくため、区民まちづくり会議を実施した。 日 時 ①5月25日(水)午後2時～3時 ②平成29年3月22日(水)午後2～3時 場 所 下京区役所会議室 参加者 ①46人 ②43人 協議事項 ①下京区基本計画に掲げる「まずやること」の進捗状況、部会の設置について(案) ②下京区基本計画の進捗状況、部会の結果報告について、平成29年度下京区運営方針(案)</p> <p>2 下京区民まちづくり会議部会の開催<再掲> 「下京区基本計画」の中間見直しとして、「健康長寿のまち・下京」「安心安全なまちづくり」の推進のため、関連団体から推薦された委員により、今後「やってみたいこと」とその実現に向けての課題及び解決策を話しあった。</p> <p>・健康長寿のまち・下京部会 日 時 ①12月12日(月)午後1時～3時 ②平成29年2月2日(木)午後1時～3時</p> <p>・安心安全なまちづくり部会 日 時 ①平成29年1月12日(木)午後5時～7時 ②平成29年2月27日(月)午後5時～7時</p>	<p>部会を開催し、区民の皆さんのより具体的で身近な意見を聴くことができた。これらの意見を参考に、取組を進めていく。</p>	地域力推進室

基本方針	28年度重点取組			
	重点取組名	目標	実績	備考(課題や総括, 今後の方針等)

3 より一層信頼される区役所づくりのために

	公務員倫理及びコンプライアンスの向上	<p>・区役所職員は、区政への市民の信頼を得るため、市民から負託を受けた公務員としてのより高い規範意識や職業倫理を保持するように努めます。</p> <p>・法律や規則、条例などの根拠に基づく業務遂行はもとより、前例踏襲主義ではなく、何か別の方法がないか、改善の余地がないかということ等を常に考えながら、創造的かつ主体的に職務を遂行するよう徹底します。</p>	<p>1 地域力推進室 全庁きょうかん推進部会で話し合われた、公務員倫理の高揚等の庁内改革策について、所属長への伝達と各所属に対する周知を徹底している。また、適正なサービスの確保に向けて、所属及び職員一人ひとりの意識を高めるため、適宜、出勤調査及び職場巡察を実施している。</p> <p>2 区民部 あらゆる機会をとらえて、公務員倫理・法令遵守の周知徹底を図るとともに、迅速な事務処理をめざし、できることから業務上での改善を図った。</p> <p>3 保健福祉センター 市民の皆さんからの問い合わせに対し、既存・新設制度の内容を正しく理解していただけるよう、できる限りわかりやすく丁寧な説明を行うよう努めた。また、職員一人ひとりが、規範意識を持ち、法律や条例・規則などの規定を確認しながら、事務の執行にあたった。</p>	<p>今後とも、信頼される区役所づくりのため、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、制度改正についても、窓口等において十分な説明を行い、市民の理解を得られるよう努めていく。</p>	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るという基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆さん(来庁者)に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する また、全職員が高い防災意識を持ち、災害時に迅速に行動する	市民サービスの向上	<p>・区役所では、お客様から、職員の仕事に対する姿勢、職員の説明などについてアンケートを実施しており、この結果を区役所各職場にフィードバックし、市民サービスの向上に努めます。</p> <p>・「お役所仕事」からの更なる脱却をめざして、情報発信力の向上や区民に親しまれる庁舎づくりなどについて、若手職員によるプロジェクトチームの活動成果を反映させ、区民の皆さまの視点に立った、満足度の高い行政サービスの提供に取り組みます。</p>	<p>1 「下京区役所市内市民サービス向上等検討チーム」の取組(地域力推進室) 平成28年度は、「市民応対向上部会」、「訪れたいくなる庁舎部会」、「役に立つ情報発信部会」の3部会を立ち上げた。各部会のメンバーが、職場のさまざまな課題に意識を持ち、意見交換等を通じて具体的な活動に発展させ、市民サービスの向上につなげている。</p> <p>・市民応対向上部会 窓口アンケートを実施し、市民からの声をもとに、より一層満足していただける窓口サービスの実現に取り組んだ。</p> <p>・訪れたいくなる庁舎部会 庁内に園児の絵を展示する、「しもん`Sギャラリー」の継続実施や保健センターの階段を、チューリップや様々な動物のイラストで飾り付けを行い、来庁者に楽しんでもらえる庁舎づくりを推進した。</p> <p>・役に立つ情報発信部会 市民しんぶんや庁内ポスター、テレビモニターを活用し、平成28年2月に設置した下京区役所専用「フェイスブック」のPRに取り組んだ。</p> <p>2 区民部 ・平成29年3月に交付窓口用の番号表示モニターを設置したことにより、来庁者に変分がかりやすい窓口となった。またソフト面でも親切・丁寧な応対を心がけ、市民サービスの向上に努めた。 ・下京区独自の婚姻メモリアル証贈呈事業が軌道に乗り3周年を迎え、市民の新生活の第一歩に貢献してきた。</p> <p>3 保健福祉センター 制度改正が行われたものについては、十分に説明を行い、市民の理解を得る努力を行っている。また、ロビーで窓口を探している市民に対して積極的に声かけを行った。</p>	<p>サービスの状況を確認し、市民の視点に立った極め細やかな対応を心がけるとともに、職員の働き方に関しても職場全体で考える機会を醸成することにより、サービスと満足度の向上に取り組んでいく。</p>	地域力推進室 区民部 保健福祉センター
	防災訓練・研修の充実	<p>大規模災害時に、全職員が機敏に対応できるよう、大規模災害を想定した防災訓練を実施し、更なる職員の防災意識の高揚と災害対応能力の向上を図ります。</p>	<p>1 災害対策本部運用訓練 (平成29年1月17日(火)) 大規模災害発生時の初期初動活動について、どのような流れになり、どのような活動を行うのか、時間ごとに動きを確認し、大規模災害に備えた訓練を実施した。</p> <p>2 熊本地震 災害派遣職員報告会 熊本地震の被災地で業務に従事した下京区役所の職員から「派遣先の業務内容、派遣先で気づいたこと、困ったこと等、派遣を経験したうえで、職員に伝えておきたいこと」などを報告し、意見交換を行った。</p>	<p>今後とも、大規模災害発生時に備え職員が機敏に対応できるよう、防災訓練や研修を実施していく。</p>	地域力推進室